

懐徳堂 瓦 受贈記念シンポジウム



学びの心

- ・日時……令和2年4月25日（土）13:30（受付は13:00より、終了予定16:30）
- ・場所……大阪大学豊中キャンパス文法経中庭会議室（大阪府豊中市待兼山町1-5）
- ・主催……懐徳堂研究会（事務局は大阪大学文学研究科中国哲学研究室）
- ・共催……一般財団法人懐徳堂記念会
- ・参加費…無料（但し申し込みが必要です。申し込み方法については裏面参照）

昭和20年（1945）3月の大阪大空襲によって懐徳堂は全焼しました。それから75年、京都の阪倉篤秀氏（関西学院大学名誉教授）宅に講堂部の屋根瓦1枚が保管されていることが分かりました。懐徳堂のシンボルマーク「學」字が認められます。

この貴重な瓦を大阪大学が拝受することになり、記念のシンポジウムを開催します。

なぜ講堂の屋根瓦が残されていたのか、「學」字に込めた当時の人々の「学び」の気持ちとはどのようなものだったのか、近代日本の教育史に懐徳堂が果たした役割は何だったのか、考えてみましょう。



【プログラム】

第一部 対談

阪倉篤秀（関西学院大学名誉教授）・湯浅邦弘（大阪大学教授）
「懐徳堂瓦と学びの心」

阪倉家に懐徳堂瓦が保管されていたのはなぜか、その歴史的経緯をたどります。また、懐徳堂のシンボルマーク「學」字に込めた人々の思いを探ります。

第二部 講演

竹田健二（島根大学教授）「重建懐徳堂における教育」

大正5年に再建され、一般市民を対象とする様々な講義や講演が行われた懐徳堂（重建懐徳堂）は、近代日本教育史や漢学史においてどのような位置を占める「学校」だったのかを考えます。

【申し込み方法】

- ・ Eメール（[kaitoku1724★gmail.com](mailto:kaitoku1724@gmail.com)）（★を@に変えて下さい）で、件名に「シンポジウム」と記載し、参加者のご芳名、ご所属を明記。
- ・ 締切は、4月17日（金）。

【アクセス】

- ・ 大阪大学豊中キャンパスへは、阪急電車「石橋阪大前」から徒歩15分、大阪モノレール「柴原阪大前」から徒歩10分。
- ・ 文学部玄関をに入って直進し、「文法経中庭会議室」へ。

【問い合わせ先】

大阪大学文学研究科中国哲学研究室

電話 （06）6850-6111（内線2128）